

みんなで考え、工夫する

校長 市川 典秀

新型コロナウイルス感染者の減少を受けて、市内の基準が少し緩やかになったところがあります。先日のお便りでもお知らせしましたが、お子さん本人の調子が通常ならば、兄弟や家族に体調不良者がいても登校できるようになりました。これまで、本人が元気で兄弟の不調に合わせ、下校していただいたお子さんがいましたが、まだ学習を続けたかったり、給食を食べたかったりしたお子さんもいて、下校してもらうのに心苦しさを感じていました。今の落ち着いた状態がずっと続いてくれることを心から祈っています。

さて、10月20日（水）には、学年団での運動会を晴れ渡った天気のもと実施することができました。もし、緊急事態宣言が延長されていたら、中止も考えなければならなかったことを思えば、実施できたことだけでも感謝しなければいけないと思います。

今回の運動会でも、「コロナ禍でもこんなことができた。」といえる内容だったと考えています。全校で一体感が出るように、6年生がすすんで、「スマイルスポーツデー2021」という名称を決めてくれました。これは、6年生の実行委員が4つの案を出し、全校で投票して決めました。3年生以上は、ギガタブレットの機能を使って投票を行いました。

種目を考えるときに、「密集しないこと」「互いの体が触れ合わないこと」を各学年にお願いしました。高学年では実行委員が話し合っただけで競技内容を決めてくれました。5・6年生の競技では、実行委員会の案で実際に競技し試してみても、さらに改善をすすめるという方法で競技が決定されました。各学年、子供や先生方のアイデアにあふれた競技を作り上げることができました。

当日の子供の振り返りにもありましたが、それぞれの子供たちにとってみては、その学年での唯一の運動会でした。しかし、子供たちは、当日、精一杯楽しむことができていたようです。

コロナ禍以前の普通の運動会が実施できる日が戻ってくることを本当に願っています。

先日、子供たちの道路の歩き方について地域の方からご意見をいただきました。細い道を広がって歩いていることがあり、今までも放送で子供たちに投げ掛けたり、教員が現地で指導したりしてきましたが、なかなか改善が見られないこともありました。そこで、その道路を通学している子供たちを集め、地域の方に教えていただいたことを伝えてみました。そして、「皆さんはどのように思いますか。」と子供たちに問題を返して考えてもらいました。5・6年生の4人をその場で指名して発言を求めると、子供たちからは、「教えてもらったように広がって歩いていることは、自分たちも危ないので気を付けていきたい。」「お互いに気を付けていきたい。」という考えが聞かれました。次の日以降も教員が現地指導を行いました。高学年の子供たちが小さい子供たちに呼び掛けている姿も見られ、広がってはいない姿も見られました。また、これからも繰り返して指導していかなければならないかもしれませんが、子供たち自身に考えさせて、成長を促していきたいと思えます。



令和3年度 重点目標 とどけるあいさつ やさしいことば

4月以降、この重点目標のもと子供たちの指導を行ってきました。朝や帰りの子供たちの様子は、意識して挨拶を返してくれる子供たちがほとんどですが、中には、友達との会話に夢中になりそのまま通り過ぎていく子供たちもいます。挨拶あふれる学校を目指し、引き続いて指導していきます。授業中に聞かれる言葉は、優しさあふれるものが増えてきていると感じています。

子供たちの学校生活の様子をホームページで紹介しています。お時間があるときにご覧ください。